

《パネリストの皆さんのプロフィール等》

本日ご登壇のパネリストの方々のプロフィール、中野区への思いを書いていただきました。(敬称略、順不同)

○ 酒井 直人 (第1回検定ものしり博士)

- ① 岐阜県生まれ。大学入学時に上京し中野五丁目に住む。中野区役所職員として22年勤務。広報課長だったときに第一回中野区検定で最高得点96点でものしり博士。2018年から中野区長。
- ② 活気のある商店街は中野区の文化遺産です。区内外はもちろん、インバウンドの観光客にも中野区の魅力を知ってもらって関係人口を一人でも多く増やしていきたいです。

○ 大澤 宏之 (第1回検定ものしり博士)

- ① 60歳。第1回中野区検定第2位(94点)中野区ものしり博士。中野区議会議員、元KDDI会社員(36年間勤務)
- ② 再開発という大きな転機を迎える中野。もっともっと人がつながるまちそして区民本位のまちづくりのために最も大切な時期であると考え、36年間務めた会社を退職し、皆さまのご支援により中野区議会議員にならせていただきました。中野区をより良いまちにするために全力で取り組んでまいります。

○ 杉山 司 (第1回検定ものしり博士)

- ① 1970年3月28日愛知県岡崎市生まれ、豊田市育ち。中野区最大のインターネットニュース「中野経済新聞」編集長。2003年日本システムウェア株式会社入社、2010年独立、2012年「中野経済新聞」発刊。2019年から中野区議会議員(3期目)。
- ② ひとりで2600以上もの記事を書いてきまして、中野区内のことは誰よりも熟知していると自負しています。サブカルの中でもアキバ=ヲタク=2次元、ブクロ=オトメ=2.5次元、ナカノ=マニア=3次元で、リアル追求型のマニアックシティが中野。そして、中野駅の北は綱吉のお困い、南は吉宗の桃園、昔と今が同居するすばらしき中野。

○ 儘田 宏 (第2回検定ものしり博士)

- ① 中野区ものしり博士、NPO日本防災士機構認定防災士、認知症サポーター
- ② 現在の中野駅周辺の繁栄と、今後計画されている「中野駅周辺まちづくり事業」を考えてみますと、江戸時代における徳川五代将軍・綱吉公による「中野村の犬のお困い」が原点にあります。

江戸市中の野犬など46万匹の犬が収容されていた、「一の困い」から「五の困い」が存在しておりました。この犬のお困いが存在したことにより、その後に広大な敷地が活用されて現代に至っている事を考えますと、現在の中野区の発展に大きく関与された徳川将軍家に、敬意を感じております。

○ 渡辺 仁平 (第5回検定ジュニアものしり博士)

現在高校1年生、16歳の渡辺仁平です。ものしり博士には小学生の頃になりました。中野区